

令和元年度 第2回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：令和元年 9 月 4 日（水）18:30～19:30

会 場：庁議室

参加者：名取 はにわ会長・本田 純副会長・有賀 千歳委員・飯島 裕子委員
山本 まゆみ委員・澤田 さなえ委員・森山 義雄委員・坂東 正樹委員

事務局：市民部長・生活文化課長・男女共同参画係長・男女共同参画係員・男女平等推進
センターコーディネーター

○議題

- ・議題（1）平成30年度第4回及び令和元年第1回男女平等推進市民会議議事録（案）
について

事務局：前回の会議で確認をさせて頂き、修正が無かったためこのように確定となった。

- ・議題（2）東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（平成30年度
事業）

会 長：事務局より説明を。

事務局：各委員におかれては、多忙な中ワーキンググループの評価作業を行っていただき感謝申し上げます。評価結果は資料2にまとめたが、評価作業の中でさらに確認が必要な事項については、後日各課に聞き取りを行い資料3にまとめたので報告したい。

～資料3読み上げ～

会 長：各グループリーダーにコメントをお願いしたい。

会 長：まずグループ1について、オールA評価が生活文化課（市内事業所への継続サポート、自治会）、生涯学習課、児童青少年課（学童保育の待機児童解消など）である。気になった点として、市役所における女性の管理・監督職への登用が進んでいない点と審議会等への女性委員の登用が進んでいない点が挙げられる。審議会については担当課が生活文化課1課のみでは難しい面があると考えている。

委 員：グループ2では、オールA評価が生活文化課（ひとり親家庭、困難を抱える女性への支援）、児童青少年課（ひとり親家庭への支援）である。気になった点としては、防災分野の女性の参加が進んでいないということでC評価が3つついてしまっている点が挙げられる。

委 員：グループ3では、オールA評価が、すべて生活文化課（男女共同参画意識を育む教育、情報発信、他機関との連携など）である。気になった点としては、ホームページの充実（写真等の掲載）が必要である点と、男女共同参画推進条例の研究が進んでいない点が挙げられる。条例制定の影響について研究が進むこ

とを期待したい。

- 会長：では、リーダー以外の方もコメントをお願いしたい。
- 委員：今回初めての評価であった。自分が社労士ということもあり、関連するところが多く、連携の可能性を感じた。
- 委員：昨年に引き続いての評価であったが、ずいぶん進んだのではないかと思う。また、各課の連携の必要性を感じた。確かに連携することは合意形成など簡単なことではないが、成功事例を研究する等今後も進めて欲しい。
- 委員：各課の取組状況が、具体的に書かれていて分かりやすかったので、評価が若干甘くなったところもあったかもしれない。一方で、昨年度と比べて進んでいないところについては、なぜ進まないのか、どのようにすれば進むのか考えていただきたい。
- 委員：報告の書きぶりに各課の熱意というか取り組み状況が表れていると思う。取り組む内容が無いから何も評価できないというのではなく、無い状況の中でどうすべきか考えることでまた評価も変わるのではないか。
- 委員：今回は第3次プランになって2回目の評価ということで、前回に比べ、担当課の連携の状況が見やすくなった。温度差もあるが、各課の連携も進んできているという印象を受けた。
- 会長：昨年度、ヒアリングを実施したが、各グループでヒアリングが必要な課はあっただろうか。私としては、職員課が気になっている。女性活躍推進法に基づいて計画をつくっているが達成は難しいと聞いており、今後第2次計画を策定するに当たり、担当課としての考えを聞いてみたいと考えている。
- 会長：続いて、答申文についてご意見があれば伺っていききたい。私としては、審議会等への女性の登用について、全庁的に取組む必要性について載せたいと思う。その他に答申についてご意見があればお願いしたい。
- 委員：女性の就業継続、キャリア形成、再就職というのは、少しずつ成果は見えているが、これからは女性の起業等への支援が社会的にも必要になってくると考えている。これに対してほとんどB評価という状況なので、そのところをもう少し充実できないかと思う。
- 委員：継続してA評価を獲得しているところは、なるべく評価をしたい。ここは伸びていると皆が感じられるところが増えてくればと思う。
- 事務局：事務局としては、本日は盛り込む内容の案を伺い、案を作成して後日ご確認を頂きたいと考えている。

○次回会議（後日調整）